

学校だより

在マレーシア日本国大使館附属・
クアラルンプール日本人会日本人学校
第12号(平成28年2月23日発行)
URL : <http://www.jskl.edu.my>

校長 宮谷真一郎

耐雪梅花麗

間もなく、3月です。巣立ちのときを迎えました。幼稚部のみなさん、ご卒業おめでとうございます。小学部、中学部のみなさん、ご卒業おめでとうございます。そして、ここまで温かく見守り、励まし、お育てなされた保護者の皆様、心からお祝い申し上げます。

ところで、表題にある「耐雪梅花麗」を、ご存じですか。読み方は「たいせつ ばいか うるわし」と読みます。直接の意味は「雪に耐えて咲いた梅の花は香しい」となります。そして、この言葉に込められた意味は「冬の寒さが厳しければ厳しいほど、その冬を乗り越えた梅の花は、香り高く咲く」です。

木の生命力たるや驚愕に値します。植えられたばかりの木は、根が地に張るまで丁寧に丁寧に育てなくてはなりません。早く育て、大きくなれと、焦ってはなりません。栄養も水も多くやりすぎると、根がだめになり、うまく育たないからです。適量のもので与え、その木の生命力を信じ、ひたすら辛抱強く育てていくしかないのです。また、根がただただで、手を離してはなりません。少々強い風雨にさらされただけで、幹が折れたり、枝が折れたりしてしまいます。根が地中で落ち着き、自力で自分の身体を支える準備が整うまで、添え木などをしてやらねばなりません。

ただし、一端根を張ると、大丈夫です。強い風で倒れても根を張っているのです、再び自分で身を起こします。そして、成長するに従い、多少の雨風ではびくともしない木になります。人間が何世代にもわたって継がねばならない年月を、一人で過ごすこともできるようになります。いかなるものの妨げものともせず、静かに、確かに成長し続けます。

このような過程を経て大きくなった木は、いつしかお世話になったものへの感謝とばかりに、それぞれの成長する姿を見せ、その持ち味を生かした恩返しをしてくれます。枝を張り、多くの葉を茂らせる木は、木陰を作り、安らぎを与えてくれます。また、散った葉は自然へと帰り、次の生命を育む源にもなってくれます。決して大きくはならない、葉も茂らせない木は、見事な花を咲かせたり、豊かな香りを届けたりすることで潤いを与えてくれます。

知らず知らず身のうちに蓄えた力を、周囲のものに余すことなく与えてくれる木。様々な苦難を乗り越えて葉を広げ、花を咲かせる木々は、育てたものに自らの姿で感謝を示してくれます。純粋にそれぞれの成長を願い、無償の愛を与え続けただけの育てたものからすれば、それは決して当たり前のことではなく、とても有り難いことなのです。

卒園、卒業を迎える皆さんは、今、どんな木になっていますか。根を張りつつある人もいれば、すでに幹を逞しくしている人もいることでしょう。それぞれの段階に応じて、それぞれの成長を遂げていることと思います。大丈夫ですよ。皆さんは間違いなく大きくなっています。そして、香り高く咲く花として、すでに周囲の方々の願いに応えつつあります。自信を持ってください。安心して、これからもその歩みを進めてください。ご卒業、ご卒業、おめでとうございます。

3月の予定

1日(火)	中 卒業式 中学生・11:50バス下校	15日(火)	小 卒業式 幼 卒業式
2日(水)	小 児童朝会 中 専門委員会	18日(金)	11:00バス下校 修了式 離任式 ～春季休業
4日(金)	小 6年生を送る会 中 朝会 幼 子どもお別れ会	31日(木)	図書貸出日9:00～10:00

平成28年度始業式	4月14日(木)
入園・入学式	4月15日(金)
中学部参観懇談会	4月28日(木)
小56年参観懇談会	5月4日(水)
小34年参観懇談会	5日(木)
小12年参観懇談会	6日(金)
幼 親子で遊ぼう会懇談会	7日(土)
PTA総会	10日(火)